

## 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

## (4) 農業金融センターの新設

JAみやぎ登米 (宮城県)

新規	継続
○	
	(平成 年 月)

1 動機(経緯)	農業の大規模化が進展し、より高度な経営力が求められる近年、そしてまた中小規模の農業者にとっては厳しさを増すばかりの農業情勢において、当JAでは組合員の皆様の負託に応えるために更なる自己改革の実践に取り組んでおります。 その中で、平成29年度は出向く体制の強化を図るべく、金融部門に農業資金をはじめ経営相談等を専門的に行う部署を設置いたしました。
2 概要	平成29年4月3日に金融部門に農業金融センターを設置し4名の職員を配置しました。 認定農業者、認定新規就農者、一定規模以上の組合員など約1,000先を対象として、訪問活動による農業資金のPRおよび一定程度の手続きの対応とあわせ、農業経営に関する各種相談やJAに対する意見要望の聴取等を行い地域農業の活性化に取り組んでいます。 また、行政等の関係機関、JA営農担当部署や農機担当部署等との連携を強化し、益々の組合員満足度向上に努めています。
3 成果(効果)	農業金融センターへの相談だけでなく、各支店に融資相談のため来店されるお客様が増えた結果、補助事業を活用した農機等の導入が促進され、大きく実績が伸長した平成28年を更に上回る融資実績となりました。 平成29年12月時点、農業資金実行実績 181件 730百万円(前年対比142%) また、関係機関等と連携した法人化支援の結果、5法人が設立されました。
4 今後の予定	平成30年度は対象とする組合員の規模等を見直し約1,300先に対し年4回以上の訪問活動を行う方針です。本取り組みの深化においては、特に他部門との連携によるサービスの向上が重要であるとの考えから、連携会議や同行訪問、研修会の開催等について、継続的に手法の検討を重ね対応を図ってまいります。

## 【H29.5.3 日本農業新聞 12面】

